

第 56 回建築士会全国大会 しまね大会紹介

1) 社寺建築 3 湯神社と玉造温泉

玉造温泉は松江市内で、いや島根県で最も大きい温泉です。市内から車で 20 分もあれば行ける位置です。その他に松江温泉は市街地にありますし、海潮温泉、鷺の湯温泉も 30~40 分以内に行ける温泉場です。

さて、玉造ですが、何の玉を造っていたのかというと勾玉です。勾玉は瑪瑙から作ります。古代から玉を作っていた遺跡が発掘されています。玉は出るし、温泉は湧くし、川もあって、宍道湖も近いとあって、最高の場所ではな



温泉街とゆうゆ(高松伸設計)



ったでしょうか。中世には湯氏という豪族もここを一時期支配していたようです。温泉の歴史も古いようで、松江藩主も専用の宿(御



湯神社本殿



願い石

茶屋)を設けていました。御茶屋を管理していた方を代々「湯乃助」と称しています。その方の子孫が旅館を経営なさっています。日本一の広さの露天風呂もあります。湯神社は玉造温泉外のはずれに位置します。本殿は大社造りの形式で歴史のある神社ですが、近年若い女性で押すな押すなの大盛況。願い石と名付けた丸石に注連縄を鉢巻状に巻き、さもご利益ありそうに置いてあります。そして社務所で叶い石という小さな石を購入し、叶い石と願石をくっつけて呪文を唱える、たちどころに恋の成就という奇跡のような現象を売りにしています。パワースポットなどという、まさに商売人パワーの塊に誘われ、今日も詣でる若い女性の群れに、神社も温泉もホクホク顔です。



願い石に群がる若い女性